令和８年度　第２回鹿児島市食品ロス削減推進委員会　会議概要

【日　時】
令和８年１０月２１日（水）　１４時００分～１４時３０分

【場　所】
みなと大通り別館６階　ソーホー鹿児島

【出席委員】
井上委員（委員長）、肥田木委員（副委員長）、飯塚委員、大賀委員、園田委員
根建委員、原田委員、平野委員、福島委員、美坂委員

【会 次 第】
１　開会
２　議事
(1) 協議事項
①鹿児島市食品ロス削減推進計画改訂(素案)に対する推進委員会委員等からの意見への対応状況について
３　その他
４　閉会

【議事概要】
①鹿児島市食品ロス削減推進計画改訂(素案)に対する推進委員会委員等からの意見への対応状況について

委　員：素案のＰ６の過剰除去の説明について、「野菜の皮」という表現になっているが、「過剰除去」というのは、肉や魚についても含まれるので、「野菜の皮など」と改めたほうが良いと思う。
事務局：「野菜の皮を厚くむきすぎるなど」と後半にも「など」という言葉が入っているので、持ち帰って検討したい。

委　員：素案のＰ１１について、「鮮度を志向する」とあるが、消費者の立場にたって、「過剰に」という言葉を入れてみてはどうか。
事務局：アンケートで実際に回答された内容であるので、アンケートに書かれていた内容をみて、その意味が込められているかどうか確認して対応したい。

委　員：カロリーベースの自給率が、「食品ロス削減関係参考資料（令和 8 年 6 月 30 日版）」（消費者庁）を使っていると説明があったが、計画を見ているときに何を参考にしているかわからなかった。例えば最後の方にどこから数字を参照しているか書いてあるといいと思った。
事務局：グラフなどについては、出典として説明があるが、文書の中にはないところである。

委　員：食品ロスについてお客様と事業者それぞれで考えが違うが「もったいない」という言葉が一番しっくりくる。「もったいない」ということを全体的にＰＲした方がいいのではないか。今月は「食品ロス削減月間」でもあるが、なかなか周知が行き届いていない気がする。

委　員：農業などの生産者や食育の計画などと横断的な対応をとり、「もったいない」に意識が向くような取り組みができるのではないかと思っている。家庭での食品ロス削減が課題となっているので、取組がより一層進んでいくためには、地域や食べ物の良さを味わうことと「もったいない」をつなげていくことが大事だと思った。